

●実務経験のある教員等による授業科目

K-POPエンタテインメント科

K-POPビジネスコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ	38	38	必修	講義	○	76
	デビュー・就職実務Ⅰ	93		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		55	必修	講義		-
	著作権		20	必修	講義		-
	PC実習	45		必修	実習		-
	選択授業	38	38	必修	講義		-
	異文化研究	22		必修	講義		-
	イベント制作実習A	134	110	必修	実習	○	244
	イベント制作実習B	301	305	必修	実習	○	606
専門科目	韓国語Ⅰ	38		必修	講義		-
	韓国語Ⅱ		38	必修	講義		-
	K-POP総合ゼミ	38	38	必修	講義		-
	ビジネス韓国語Ⅰ	38		必修	講義		-
	ビジネス韓国語Ⅱ		38	必修	講義		-
	ネイティブ韓国語Ⅰ	19		必修	講義		-
	ネイティブ韓国語Ⅱ		19	必修	講義		-
	TOPIKⅠ 検定対策	38		必修	講義		-
	TOPIKⅡ 検定対策		38	必修	講義		-
	ライブマーケティングⅠ	38		必修	講義	○	38
	ライブマーケティングⅡ		38	必修	講義	○	38
	簡易PA実習	38		必修	実習	○	38
	動画配信基礎		38	必修	実習	○	38
	デザイン実習Ⅰ	38		必修	講義	○	38
	デザイン実習Ⅱ		38	必修	講義	○	38
合計	総授業時間数	956					
合計	総授業時間数		851				合計
卒業時最少時間		1807					1154

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2020年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、AWA株式会社、株式会社コログラフィ等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	93 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPを使用したの授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出

教科書等	<p>社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施</p>
成績評価	<p>課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10%</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	田中 史歩・永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:「マダラートシート」の作成 就職志望:Ⅰ【目標設定と計画、自覚】Z世代初動での目標設定の決め、見直しと計画。「マダラートシート」の作成
2	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。志望動機編 書き出しとフィードバック 就職志望:「マダラートシート」フィードバック
3	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。自己PR編 書き出しとフィードバック 就職志望:①【自己PRとは】テーマ:自分の見つけなおしと認知。書き出しとフィードバック
4	アーティスト志望:プロフィール制作方法の講義。 就職志望:②【自己PRとは】テーマ:自分の見つけなおしと認知。書き出しとフィードバック
5	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 校内イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:①【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
6	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
7	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
8	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
9	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:①活動状況報告と個別フィードバック
10	アーティスト志望:校外イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:【面接対策(印象)】
11	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 就職志望:【レビュー(評価)・リスクマネジメント】
12	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:【自己世代を知る】Z世代、ミレニアル世代とされる自身の職場に置かれるポジショニング
13	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②活動報告と個別フィードバック
14	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(社内編)
15	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(クライアント・ユーザー編)
16	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:③活動報告と個別フィードバック
17	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。世の中に目を向ける
18	アーティスト志望:企画制作/ゲネプロ 就職志望:②【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。発表とフィードバック
19	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:Ⅱ【目標設定と計画、自覚】「マダラートシート」の返却と振り返り。

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。 自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知らせよう。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	45 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	テキスト・問題集(Word・Excel共に) 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	22 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	134 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	110 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	301 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	305 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	韓国語 I		実務授業の有無	×
担当講師	小林美奈子/平川真由美/裴英實		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	ビジネスコース/ダンス・ヴォーカルコース

授業概要	<p>ハングルの仕組み、基本発音を学び、基本的な日常会話までできる事を目指す。 また、基本的な日常会話で使われる文法を理解する。 レベル別のクラス編成とし、各理解力に応じた授業展開をする。基本、「最新チャレンジ韓国語」を使用し、後期後半では進度により「ちょこっとチャレンジ」を進めてもよい事とする。 検定前には検定対策を実施。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	韓国語授業ガイダンス 第1課 ハングルの仕組み/基本母音と合成母音
2	第2課 基本子音(平音、激音、濃音の基本)
3	第3課 合成母音
4	第4課 パッチムと音の変化
5	第5課 私は～です 名詞の肯定文、否定文、疑問文/かしまった「です、ます」体
6	第6課 時間がありますか？有無をあらわす表現 物・家族・位置
7	第7課 それは何ですか？ これ、それ、あれ、だれの表現/質問して答える
8	第8課 日曜日は何をしますか？ うちとけた「です・ます」体/数字の表現
9	評価週 これまでに学んだ文法、語彙の習得度確認
10	第9課 何が好きですか？自分の好みやしたい事を表現する/場所を表す単語/変則活用
11	第10課 週末に何をしましたか？ 自分のした事を表現する(過去形/願望)
12	TOPIK 対策
13	TOPIK 対策
14	TOPIK 対策
15	第11課 明日は何をするつもりですか？ 予定や推測の表現/買い物をする時の表現、語彙
16	第12課 スープが冷たくておいしいです 自分の気持ちを表現する/様々な表現方法/形容詞
17	第13課 一度遊びに来てください 相手の意思をたずねたり、誘ってみる/可能・不可能の表現
18	これまでに学んだ文法、語彙を使った文章作成
19	評価週 これまでに学んだ文法、語彙を使った文章作成の発表

教科書等	<p>最新チャレンジ韓国語(金順玉、阪堂千津子著/白水社) 進度に応じて、ちょこっとチャレンジ韓国語(金順玉、阪堂千津子、崔栄美著/白水社) 各レベル別に担当指導講師独自の教材を用いる事もある。 授業形態/対面授業のみ実施</p>
成績評価	<p>授業理解度(50%)学習意欲(30%)提出物(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	韓国語 II		実務授業の有無	×
担当講師	小林美奈子/平川真由美/裴英實		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	ビジネスコース/ダンス・ヴォーカルコース

授業概要	<p>「最新！チャレンジ韓国語」とシリーズ続編となる「もっとチャレンジ韓国語」を用いて学習する。日常的な場面で、自然に韓国語で会話できるようになる事を目指す。レベルにより一年次後半「ちよこっとチャレンジ」を学習した場合は重なる学習項目がある為、進度においては変更もあるものとする。検定前には検定対策を実施。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	1年次のおさらい 第1課 空港へ出迎え(先行動作/勧誘)(動詞・存在詞の現在連体形/時間・場所)
2	第2課 部屋探し(理由/推測/意思)(過程/条件/形容詞の現在連体形)
3	第3課 自己紹介(動詞の過去連体形/順序)(経験/時間の経過/願望)
4	第4課 ソンミンの家で(尊敬)(婉曲/紹介/説明)
5	第5課 帰り道(推測/傾向)(感嘆/変化)
6	第6課 百日記念日(列挙)(不可能)
7	第7課 引越しパーティの日(指示/理由・判断の根拠)(義務/状態の継続)
8	第8課 汽車に乗ってお出かけ(してくれる・してあげるの表現)(回想・反復・習慣・未完了の過去連体形)
9	評価週 これまでに学んだ文法、語彙の習得度確認
10	第9課 村の風景(原因・理由)(見た目での推量/打消し・禁止)
11	第10課 ソンミンさんを訪ねて(不可能/禁止・命令)(アドバイス/前置き・根拠)
12	TOPIK 対策
13	TOPIK 対策
14	TOPIK 対策
15	第11課 下宿に帰って(間接話法)
16	第12課 診察を受ける(感心/推量や意思を根拠にした理由)(許可/禁止)
17	第13課 和解(強い主張/間接話法の疑問文)(体験/パンマル)
18	第14課 悲しみよ、さようなら(予断・思い込み)(意図) これまでに学んだ文法、語彙を使った文章作成
19	評価週 これまでに学んだ文法、語彙を使った文章作成の発表

教科書等	<p>ちよこっとチャレンジ韓国語(金順玉、阪堂千津子、崔榮美著/白水社) 進度に応じて、ちよこっとチャレンジ韓国語(金順玉、阪堂千津子、崔榮美著/白水社) 各レベル別に担当指導講師独自の教材を用いる事もある。 授業形態/対面授業のみ実施</p>
成績評価	<p>授業理解度(50%) 学習意欲(30%) 提出物(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	K-POP総合ゼミ		実務授業の有無	×
担当講師	小林美奈子/ゲスト講師		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	ビジネスコース

授業概要	<p>K-POPに特化した特別講義 音楽業界の中でもK-POPは今や世界的にも一つのジャンルとして確立している。その業界を目指す為には韓国語だけではなく、韓国を知り、世界視野で物事を見る事のできるようになる必要がある。ここでは特別ゲストを招いた講義をメインに、実践(翻訳実践やユニット活動計画など)を交えた授業を展開する。 特別ゲストの調整により回数、開催日時、講座内容は変更あるものとし、開催決定毎に随時案内する。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	K-POP業界を目指す為にまず何をすべきか考える。目標の設定 韓国企業研究①
2	韓国留学セミナー
3	韓国伝統と文化(特別講師)
4	韓国のメイク、カルチャー(特別講師)
5	K-POPビジネスゼミ(特別講師)
6	K-POPビジネスゼミ(特別講師)
7	活動に沿った制作実践(翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動 など)
8	活動に沿った制作実践(翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動 など)
9	K-POPビジネスゼミ(特別講師)
10	K-POP業界を目指す為に、何をすべきか考える(目標の再確認) 韓国企業研究②
11	韓国伝統と文化(特別講師)
12	韓国のメイク、カルチャー(特別講師)
13	K-POPビジネスゼミ(特別講師)
14	K-POPビジネスゼミ(特別講師)
15	活動に沿った制作実践(翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動 など)
16	活動に沿った制作実践(翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動 など)
17	K-POPビジネスゼミ(特別講師)
18	K-POPビジネスゼミ(特別講師)
19	1年の振り返りと目標の達成度の確認

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業理解度(50%)学習意欲(30%)提出物(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ビジネス韓国語 I		実務授業の有無	×
担当講師	朱 貞淑		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	ビジネスコース

授業概要	パソコンのハングル入力環境設定やキーボードの打ち方などの基礎から始まり、ビジネス上のメールのやり取りに必要とされる表現を学習し、韓国語を使う業界に必要なビジネス韓国語を学んでいく。「한컴타자연습」プログラムを用いて楽しくパソコンでハングルの打ち練習をじっくり取り組みながら、韓国語表現と韓国語でのコミュニケーションスキルの基本を身に付ける。			
------	--	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①ガイダンス ②韓国語のキーボード入力方法の基本と「한컴타자연습」使い方を学ぶ。
2	①覚えておきたい単語 ②ハングルタイピング練習
3	①覚えておきたい単語 ②ハングルタイピング練習
4	①書き出し・挨拶の言葉 ②ハングルタイピング練習
5	①本文(感謝・謝罪) ②ハングルタイピング練習
6	①本文(依頼・アポイント) ②ハングルタイピング練習
7	①本文(通知・連絡) ②ハングルタイピング練習
8	①結びの言葉 ②ハングルタイピング練習
9	①実用例文 ②これまでの学習のまとめ、習得度の確認
10	①実用例文 ②ハングルタイピング
11	①実用例文 ②ハングルタイピング
12	①実用例文 ②ハングルタイピング
13	①実用例文 ②ハングルタイピング
14	①実用例文 ②ハングルタイピング
15	①実用例文 ②ハングルタイピング
16	①実用例文 ②ハングルタイピング
17	①実用例文 ②ハングルタイピング
18	①実用例文 ②ハングルタイピング
19	①実用例文 ②これまでの学習のまとめ、習得度の確認

教科書等	なし。講師によりプリントや教材を準備して進める。 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	授業理解度(50%)学習意欲(30%)提出物(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ビジネス韓国語 II		実務授業の有無	×
担当講師	黄 仁祚		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	ビジネスコース

授業概要	1年次学んだ基礎を応用して、この講義では様々なビジネス場面で使われる作文の表現を学ぶ。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明 レベルチェック
2	実用文練習①
3	実用文練習②
4	実用文練習③
5	実用文練習④
6	短文練習①
7	短文練習②
8	短文練習③
9	短文練習④
10	調査結果説明文練習①
11	調査結果説明文練習②
12	調査結果説明文練習③
13	調査結果説明文練習④
14	長文練習①
15	長文練習②
16	長文練習③
17	長文練習④
18	長文練習⑤
19	これまで習った内容のまとめ

教科書等	なし。講師によりプリントや教材を準備して進める。 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	授業理解度(50%)学習意欲(30%)提出物(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ネイティブ韓国語 I		実務授業の有無	×
担当講師	黄 仁祚/裴英實		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	19 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	ビジネスコース/ダンス・ヴォーカルコース

授業概要	日本語と韓国語では発声方法やのど、舌の使い方が違う為、わずかな違いが表現できなかつたり、聞き取りできない事が多い。基本の発音と抑揚、発音の変化の決まりなどを知り、ネイティブに近い韓国語で会話ができるようになる土台を作る事を目標とする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明 ハンゲルの起源と構造/日本語との比較
2	韓国語の子音/母音を練習
3	平音、激音、濃音をトレーニング①
4	平音、激音、濃音をトレーニング②
5	韓国語の抑揚をトレーニング①
6	韓国語の抑揚をトレーニング②
7	パッチムをトレーニング①
8	パッチムをトレーニング①
9	前期習った内容のまとめ
10	前期を振り返り
11	韓国語の発音変化をトレーニング①
12	韓国語の発音変化をトレーニング②
13	韓国語の発音法則のまとめ①
14	韓国語の発音法則のまとめ②
15	KPOPの歌詞で発音の変化を覚える②
16	KPOPの歌詞で発音の変化を覚える①
17	韓国童話の朗読①
18	韓国童話の朗読②
19	後期習った内容のまとめ

教科書等	韓国語の発音と抑揚トレーニング(株式会社HANA 著者 長渡陽一)をメインとして使用。 その他、各講師によりプリントや教材を準備する事もある。 授業形態/遠隔授業のみ実施
成績評価	授業理解度(50%)学習意欲(30%)提出物(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ネイティブ韓国語 II		実務授業の有無	×
担当講師	裴英實		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	ビジネスコース/ダンス・ヴォーカルコース

授業概要	<p>2年次では1年次習った発音、抑揚の基本を実際の会話で使えるようになる必要がある。 その為、映像や書籍などさまざまな教材を用いて学習する他、タイムリーな話題、ニュースなどから実際に使われている韓国語を聞き取り、話せるようになる事を目指す。 また、2年次後半にはグループワークによりオリジナルの会話文を作成し、自然な会話ができるようになる。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明 1年次のおさらい
2	日本人が間違いやすい発音①
3	日本人が間違いやすい発音②
4	韓国語の擬声語、擬態語の練習①
5	韓国語の擬声語、擬態語の練習②
6	K-POP関連映像から読み解く韓国語①
7	K-POP関連映像から読み解く韓国語②
8	K-POP関連映像から読み解く韓国語③
9	前期習った内容のまとめ
10	韓国語慣用句やことわざ①
11	韓国語慣用句やことわざ②
12	韓国ニュースから読み解く韓国語①
13	韓国ニュースから読み解く韓国語②
14	韓国の書籍から読み解く韓国語①
15	韓国の書籍から読み解く韓国語②
16	グループワークによる会話文作成
17	グループワークによる会話文作成
18	グループワークによる会話文発表
19	後期習った内容のまとめ

教科書等	<p>講師の用意した最新のニュースやTOPICなどから抜粋してタイムリーな話題を用いる。 韓国語発音クリニック(白水社 著者 前田 真彦) KBSの韓国語標準発音と朗読(株式会社 HANA 著者 KBS韓国語研究会)など参考教材とする。 授業形態／遠隔授業のみ実施</p>
成績評価	<p>授業理解度(50%) 学習意欲(30%) 提出物(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	TOPIK I 検定対策授業		実務授業の有無	×
担当講師	小林美奈子/平川真由美		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	ビジネスコース/ダンス・ヴォーカルコース

授業概要	<p>K-POP科においては、韓国語の習得は必須であり、韓国をフィールドとしてデビュー、就職するためには、世界共通の韓国語能力の証明となるTOPIKを保有する事が大きな武器となる。レベル別クラス編成とし、TOPIK I (1級～2級)合格に必要な傾向と対策を理解し、聞き取り力と読み取り力を身につける。</p> <p>副教材として初級単語800を用い、合格する為の語彙力をアップさせる。</p> <p>今年度受験終了後はTOPIK I 振り返りとTOPIK II へ向けた準備の学習を進める</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	TOPIK I の試験概要に対して説明し合格ラインを把握する。 出題の流れ、手順の説明と過去問から試験パターンを知る。
2	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
3	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
4	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
5	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
6	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
7	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
8	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
9	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
10	過去問実施及び解説
11	過去問実施及び解説
12	過去問実施及び解説
13	過去問実施及び解説
14	過去問実施及び解説
15	TOPIK I 検定振り返りおよびTOPIK II 準備
16	TOPIK II 準備(聞き取り問題の傾向)
17	TOPIK II 準備(読み取り問題の傾向)
18	TOPIK II 準備(作文の作り方)
19	評価週 1年の振り返りと習得度の確認

教科書等	<p>韓国語能力試験TOPIK I (初級)完全対策 韓国語能力試験TOPIK I, 2級 初級単語800 授業形態／対面授業のみ実施</p>
成績評価	<p>授業理解度(50%)学習意欲(30%)TOPIK検定結果(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	TOPIK II 検定対策授業		実務授業の有無	×
担当講師	表英實		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	ビジネスコース/ダンス・ヴォーカルコース

授業概要	<p>K-POP科においては、韓国語の習得は必須であり、韓国をフィールドとしてデビュー、就職するためには、世界共通の韓国語能力の証明となるTOPIKを保有する事が大きな武器となる。レベル別クラス編成とし、能力別にTOPIK3級以上を目指す。</p> <p>「聴き取り」、「作文」、「読解」全ての項目に対し、過去問のパターンと問題を分析し、それを理解・応用して問題が解けるよう学習していく。副教材として中級単語1800を用い、合格する為の語彙力をアップさせる。今年度受験終了後は検定振り返りとより上級合格へ向けた準備の学習を進める</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①TOPIKIIの試験概要に対して説明し合格ラインを把握する。 ②「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
2	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
3	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
4	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
5	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
6	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
7	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
8	「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
9	「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
10	過去問実施及び解説
11	過去問実施及び解説
12	過去問実施及び解説
13	過去問実施及び解説
14	過去問実施及び解説
15	TOPIK II 検定振り返りおよび次回への準備
16	より上級を目指す為の聞き取り対策
17	より上級を目指す為の読み取り対策
18	より上級を目指す為の作文対策
19	評価週 1年の振り返りと習得度の確認

教科書等	韓国語能力試験TOPIK II (中・上級)完全対策 韓国語能力試験TOPIK3, 4級 中級単語1800 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	授業理解度(50%)学習意欲(30%)TOPIK検定結果(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブマーケティング I	実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶	講義実施時期	前期・後期
		必修・選択	必修
対象学年	1 年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科	対象コース	K-POPビジネスコース

授業概要	<p>コンサート・ライブビジネスの基本知識を学ぶ。アーティストマネジメント・音楽業界の仕組み・業界の仕事(職種)など、業界就職の目標となるべく業界知識を授業で習得する。音楽エンタテインメント業界のビジネスモデルを用いてマーケティングやSNS業界についても知識を学ぶ。</p> <p>前期には「SummerReview」後期には「GrandConcert」に向けての企画・制作・運営計画も含む。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	音楽ビジネスとは？「音楽ビジネス」とは何をビジネスにしているかの知識を学ぶ。
2	1回目で学んだ知識について振り返り、テーマごとに更に掘り下げ。音源・実演・グッズ・ファンクラブ(サービス)
3	【音源】について。CD・配信・ストリーミングサービスの違い～音源に携わるスタッフとは？の知識を学ぶ。
4	GW明け。第1回～第3回までの振り返り。今一度授業内容への動機付け。
5	【実演】について。コンサート・ライブ(実演)の運営・経費・携わるスタッフ・チケットシステムなどについて学ぶ。
6	【グッズ】について。グッズの仕事を知る。実際にグッズ制作を行なっている業者のサイトを使用。
7	【ファンクラブ(サービス)】について。ファンクラブ運営の仕事を知る。WEBとSNSなどを使用した展開について。
8	前段の授業で一通り通って来た仕事について、更にエンタテインメント業界の仕事をピックアップして掘り下げていく。プロダクション、コンサートプロモーター、レコード会社、音楽出版社、制作会社、ライブ・エンターテインメントEXPO関連企業から抜粋。
9	前期授業の振り返り、まとめと後期授業内容予定の説明。テスト
10	後期1回目。前期までの振り返り。今一度授業内容への動機付け。前期テストの振り返り。
11	①【エンタテインメント業界知識】プロダクション、コンサートプロモーター、レコード会社、音楽出版社、制作会社、ライブ・エンターテインメントEXPO関連企業から抜粋。
12	②【エンタテインメント業界知識】プロダクション、コンサートプロモーター、レコード会社、音楽出版社、制作会社、ライブ・エンターテインメントEXPO関連企業から抜粋。
13	①【音楽ビジネスマーケティング知識】プロモーション・マーケティングについて。ライブ、グッズ、音楽サービスでのマーケットの仕組み。
14	②【音楽ビジネスマーケティング知識】プロモーション・マーケティングについて。ライブ、グッズ、音楽サービスでのマーケットの仕組み。
15	③【音楽ビジネスマーケティング知識】プロモーション・マーケティングについて。ライブ、グッズ、音楽サービスでのマーケットの仕組み。
16	①【音楽ビジネスマーケティング知識】からの企画(グループワーク)
17	②【音楽ビジネスマーケティング知識】からの企画・まとめ・資料制作(グループワーク)
18	③【音楽ビジネスマーケティング知識】からの企画の発表(グループワーク)。プレゼンテーション実施
19	【まとめ】グループワーク・プレゼンテーションへのフィードバック

教科書等	<p>Music Ally Japan記事&セミナー、各種音楽エンタテインメント情報サイト、ACPCサイト、音制連サイト 他 書籍:「マネジメントの実務」「ヒットの崩壊」「音楽業界金のバイブル」 「誰が音楽をタダにした」 他 授業形態/対面授業のみ実施</p>
成績評価	<p>課題・グループワークレポート提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(プロモーター・有料会報誌編集長として勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミン】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブマーケティングⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース

授業概要	1年次で学習、実習で学んだものを基に実践(企画・プレゼン)していく。 オリコンコンフィデンスの記事を基に、エンタテインメント業界人が語る事、研究事例をグループワークで分析し、自己なりの見解を発信する。 企画力・実践力・プレゼン力・発信力を学習する。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【1年次の振り返り】音楽エンタテインメント業界について。
2	2020年年間マーケットレポートを読み解く。グループワークで分析～まとめ～見解発表
3	①【音楽に特化したデジタルマーケティング戦略】を学ぶ
4	②【音楽に特化したデジタルマーケティング戦略】グループワーク～発表
5	③【音楽に特化したデジタルマーケティング戦略】グループワーク～発表
6	①【音楽ストーリーミング、ファンエンゲージメント、SNS戦略】を学ぶ
7	②【音楽ストーリーミング、ファンエンゲージメント、SNS戦略】グループワーク～発表
8	③【音楽ストーリーミング、ファンエンゲージメント、SNS戦略】グループワーク～発表
9	前期【音楽に特化したデジタルマーケティング戦略】【音楽ストーリーミング、ファンエンゲージメント、SNS戦略】まとめ
10	①【ストーリーミングやSNSプラットフォームの最新動向】を探る
11	②【ストーリーミングやSNSプラットフォームの最新動向】グループワーク～発表
12	③【ストーリーミングやSNSプラットフォームの最新動向】グループワーク～発表
13	①【アーティストやレーベル、マネジメントの成功事例】記事より学ぶ
14	②【アーティストやレーベル、マネジメントの成功事例】記事より抜粋～グループワーク～発表
15	③【アーティストやレーベル、マネジメントの成功事例】記事より抜粋～グループワーク～発表
16	①【音楽エンタテインメント業界のテクノロジーのトレンド】を探る
17	②【音楽エンタテインメント業界のテクノロジーのトレンド】を当てはめた企画ワーク
18	③【音楽エンタテインメント業界のテクノロジーのトレンド】を当てはめた企画ワーク～発表
19	後期【ストーリーミングやSNSプラットフォームの最新動向】【アーティストやレーベル、マネジメントの成功事例】 【音楽エンタテインメント業界のテクノロジーのトレンド】まとめ

教科書等	Music Ally Japan記事&セミナー、各種音楽エンタテインメント情報サイト、ACPCサイト、音制連サイト 他 書籍:「マネジメントの実務」「ヒットの崩壊」「音楽業界金のバイブル」 「誰が音楽をタダにした」 他 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	課題・グループワークレポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(プロモーター・有料会報誌編集長として勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	簡易PA実習		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース

授業概要	<p>前期では簡易PA機材(YAMAHA STAGEPAS)をマスターし、小規模イベントでのPAが出来るようになることを目指す。後期ではさらに楽器の接続、ワイヤレスマイク、モニタースピーカー、デジタルミキサーなどさらに発展させた機材を使い、音響の知識・技術を深める。この授業を通じて学校内外での簡易的なイベントでPAが出来るようになることを目標とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション:音響・PAとは何か、音響機材の仕組みについて ケーブル巻き①、マイクスタンドの立て方
2	マイク、マイクスタンド、ケーブル、YAMAHA STAGEPAS 600i、スピーカースタンドを用意して音を出してみる
3	マイク・スピーカーの仕組み、ダイナミックマイクとコンデンサーマイク マイクスタンドの種類・立て方、ケーブル巻き②
4	アナログミキサーの使い方(YAMAHA EMX5014Cを使用して)① 基本編 (信号流れ、Mic Gain、Pad、Fader、Pan、ON、ST Master、PFL、AFL、Meter、Mono/ST、ヘッドホン、Amp内蔵)
5	アナログミキサーの使い方(YAMAHA EMX5014Cを使用して)② イコライザー・コンプレッサー編
6	アナログミキサーの使い方(YAMAHA EMX5014Cを使用して)③ エフェクト・AUX編
7	YAMAHA STAGEPAS 600iを使った場合やり方、Mic/Line/Hi-Z、ダイレクトボックスとは
8	YAMAHA STAGEPAS 600iを使いLiveを想定したセッティング
9	YAMAHA STAGEPAS 600iを使った仕込み・撤収テスト
10	前期の復習:YAMAHA STAGE PAS 600iを使いLiveを想定したセッティング、ケーブル巻き
11	ケーブルの種類(コネクター)について 電源について
12	YAMAHA STAGEPAS 600iで、カホン、ベースを用いた接続、音作り(DIを使う場合、使わない場合)
13	YAMAHA STAGEPAS 600iで、キーボード、アコースティックギターを用いた接続、音作り
14	ワイヤレスマイクのセッティング
15	モニタースピーカー(パワードスピーカー)を用意してカラオケ機を設置する
16	デジタルミキサー(YAMAHA 01V96)を使ったセッティング(YAMAHA 101Ⅲとマイクを使用)
17	デジタルミキサー(01V96)とラックセット(CD/MD、G.EQ、P.Amp)とパッシブスピーカーでのPA操作
18	デジタルミキサー(01V96)とラックセット(CD/MD、G.EQ、P.Amp)とパッシブスピーカーでのPA操作
19	デジタルミキサー(01V96)とラックセット(CD/MD、G.EQ、P.Amp)とパッシブスピーカーでのPA操作テスト

教科書等	無し。 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	<p>期末テスト結果:50%、授業態度および学習意欲50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務</p> <p>ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務</p> <p>舞台機構調整技能士2級 合格</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	動画配信基礎		実務授業の有無	○
担当講師	小林伸嘉		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース

授業概要	<p>音楽ビジネスにおいて必須になったインターネット動画について学ぶ。 インターネット動画の概要など基礎的な知識の習得から動画業界の実情を学び、さらにスマホと一眼ムービーを実際に使った動画制作を実習形式で体験する。 広報やプロモーション業務において簡易な動画を自ら発信できる人材となることを目指す。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション/インターネットのおおまかな仕組みについて
2	インターネット動画の仕組みについて/配信サーバーとは・動画配信の仕組みとコーデック
3	インターネット動画の仕組みについて/配信サーバーとは・動画配信の仕組み
4	音声圧縮技術について
5	インターネット動画ビジネスについて/音楽業界と動画配信のかかわり
6	インターネット動画と著作権・権利処理について
7	SNS時代におけるコミュニケーション/ビジュアルコミュニケーションとは
8	SNS時代におけるコミュニケーション/SNSの動画機能
9	YOUTUBEについて
10	ネット検索と動画コンテンツの関係について/音楽業界における動画の重要性/Music Video事例
11	動画クリエイターのトレンドについて/一眼ムービーとは
12	動画クリエイターのトレンドについて/ビデオグラファーなどの映像系職業
13	動画撮影実習① 学校内で撮影 カメラ撮影技術 構図について1
14	動画撮影実習② 屋外で撮影 カメラ撮影技術 構図について2
15	動画撮影実習③ 屋外で撮影
16	動画編集実習① 簡単な動画編集ソフトで編集する◆編集アプリ Premier RUSH/編集ソフト ADOBE Premier 概略説明
17	動画編集実習② 簡単な動画編集ソフトで編集する◆編集アプリ Premier RUSH/編集ソフト ADOBE Premier 概略説明
18	動画編集実習③ 簡単な動画編集ソフトで編集する◆編集アプリ Premier RUSH/編集ソフト ADOBE Premier 概略説明
19	作品提出/YouTubeにアップロードする

教科書等	ライブ配信&収録の教科書 ビデオサロン 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	課題提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ブライダルビデオ制作会社勤務8年 テレビ制作会社勤務7年 インターネット動画配信会社勤務3年 映像制作業起業 nobuyosicom(パングスタジオ新潟)10年、SKYFINDER合同会社 経営3年

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校 授業シラバス

科目名	デザイン実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶/田中 史歩		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	K-POPビジネスコース

授業概要	Illustratorの基本操作を学び、HP、フライヤーデザインなど実践的な操作を目標とする。 検定取得に向けた演習問題の実施等。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①【基本操作】Adobeソフトについて
2	②【基本操作】Illustrator、Photoshop等のデザインソフトについて
3	③【基本操作】Illustrator基本操作の実践
4	④【基本操作】Illustrator基本操作の実践
5	⑤【基本操作】Illustrator基本操作の実践
6	⑥【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
7	⑦【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
8	⑧【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
9	⑨【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
10	①【デザイン】演習問題
11	②【デザイン】演習問題
12	③【デザイン】演習問題
13	④【デザイン】演習問題
14	①【デザイン】演習問題・検定用問題実践
15	②【デザイン】演習問題・検定用問題実践
16	③【デザイン】演習問題・検定用問題実践
17	④【デザイン】演習問題・検定用問題実践
18	⑤【デザイン】演習問題・検定用問題実践
19	⑥【デザイン】演習問題・検定用問題実践

教科書等	IllustratorクイックマスターCC・問題集 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	演習問題理解度70%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(有料会報誌編集長・コンサートプロモーターとして勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デザイン実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶/田中 史歩		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース

授業概要	Photoshopの基本操作を学び、HP、写真加工の技術、ライターデザインなど実践的な操作を目標とする。検定取得に向けた演習問題の実施等。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①【基本操作】Photoshopソフトについて
2	②【基本操作】Photoshop、Illustratorの組み合わせ方、実践の知識。
3	③【基本操作】Photoshop基本操作の実践
4	④【基本操作】Photoshop基本操作の実践
5	⑤【基本操作】Photoshop基本操作の実践
6	⑥【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題
7	⑦【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題
8	⑧【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題
9	⑨【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題
10	①【加工、デザイン】演習問題
11	②【加工、デザイン】演習問題
12	③【加工、デザイン】演習問題
13	④【加工、デザイン】演習問題
14	①【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践
15	②【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践
16	③【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践
17	④【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践
18	⑤【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践
19	⑥【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践

教科書等	PhotoshopクイックマスターCC・問題集 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	演習問題理解70%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(有料会報誌編集長・コンサートプロモーターとして勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)